



自立支援センター おおいた

第2回 泉都別府まちづくり支援事業

現在、当センターでは「第2回 泉都別府まちづくり支援事業」の交付金を受け、バリアフリーの情報収集事業を行っています。今回その一環として、別府市及びその周辺にある観光施設、計8カ所へバリアフリー調査に行ってきました。

その中で、『城島後楽園ゆうえんち』『大分マリンパレス水族館・うみたまご』『九州自然動物公園・アフリカンサファリ』の3ヶ所での様子をここで紹介します。

城島後楽園ゆうえんち



Toy s Kingdom前にて



坂道途中のトイレ

第6号

発行元; 特定非営利活動法人

自立支援センターおおいた

発行年月日; 2004年12月24日

編集担当者; 高橋 絵里、木高 清香

西川 扶美子、村田 由香里

10月7日(木) 城島後楽園ゆうえんちにバリアフリー調査に行ってきました。この日は全国的にも天気がよくて、行楽日和でした。

もう山間部は寒いだろうと思い、防寒具を準備して行ったのですが、まだまだ残暑があり、半袖でも少し暑く感じる程でした。平日ということもあり、本来よりお客さんが少ないような気がしました。また、スタッフの方々の対応がとてもよかったです。

調査をするにあたり、遊園地内に坂道が多く、車イスで移動するには大変苦労しました。また、遊園地内に身障者用トイレが3ヶ所というのは少ないように思いました。一番人気のあるアトラクション(ジュピター)の近くには身障者用トイレがなく、利用したい場合はかなりの坂道を戻らなくてはならず、大変でした。

昼食はファーストフード店に行きました。お店の入り口は階段だったので、裏側にあるスロープ入り口から入ろうとしたのですが、鍵がかかっており、たまたま中にいたお客さんが気づいてくれ、入ることができました。中に入ればバリアフリーで通路も広く、利用しやすかったです。

最後に、今後は誰でも利用できるようなユニバーサルデザインを取り入れて頂けると、みんなが気持ちよく利用できるのではないのでしょうか。

これからの季節は花火やクリスマスイルミネーションなど色々なイベントがあるので皆さんぜひ行ってみたいはいかがでしょうか! (記事: 村田)

うみたまご



セイウチショー



ニモ！（カクレマノミ）

きゅうしゅうし ぜん どうぶつこうえん 九州自然動物公園アフリカンサファリ

10月14日、九州自然動物公園アフリカンサファリに調査に行きました。当日は風が強く肌寒かったのですが家族連れなどお客さんがたくさん来ていました。山の斜面を利用した造りになっており、車イスでの移動は大変でしたがスタッフの方が快く手伝ってくれました。ジャングルバスへは車イスのまま乗り込むことができないというのが少し残念でした。総合案内所では車イスの貸し出し（有料）も行っています。これからの季節、まだまだ寒くはなりますが、動物とのふれあいコーナーもあるので、ぜひ！行ってみてください。（記事：高橋）

今年4月にリニューアルオープンした“大分マリンパレス水族館うみたまご”はハートビル法適応施設で車イス専用の席があり、館内の通路も広く車イスでも快適に利用ができます。館内には7ヶ所のトイレがあり、その全てに多目的トイレ（一部オストメイト対応有り）が設置されています。エレベーターも3基設置されており、前後二つの扉が開閉し乗り降りに便利ですが、車イスが入るには少し狭く感じられました。館内にはうみたまごの中央にそびえる大回遊水槽を中心に5つのゾーンと2つのエリアがあり、それぞれのゾーンやエリアで様々な種類の魚や動物を観ることができます。またうみたまごでは、『生き物とのふれあい』を1つのテーマに挙げていることから、屋外・屋内のタッチプールで、ヒトデ等の磯に住む生き物や、小型のサメやエイなどを手で触れることができます。しかし車イスの高さだと、プールが高すぎたり、低すぎたりして触れ合うことが難しいように感じられました。またショーの後ではセイウチに触ることができ、めったにない機会らしくお客さんからは大人気でした。調査当日は、平日でお客さんの数は休日に比べると少なかったように感じましたが、休日に行くと10号線もうみたまごも混雑しているのでゆっくり鑑賞できないのではないかと思いました。また、土日祝に限り、夜21時まで夜間営業を実施しているので、昼とは違う夜のうみたまごを楽しむことが出来るのではないのでしょうか。

うみたまごは、今後も規模が大きくなるということなので、これからのうみたまごも障がい者や高齢者の方が更に快適に利用できるように施設にしてほしいと思います。（記事：木高）



カントリーガーデン内のポニー！



人権啓発フェスティバルおおいた2004



平成16年11月26日・27日(土)大分県(大分県教育委員会、大分県人権教育・啓発推進協議会)主催
で大分市コンパルホールにて人権啓発フェスティバルが開催され、当センターでは「障害者の自立生活とピア・
カウンセリング」と題してワークショップを開きました。

カウンセリングでは、障害者と健常者を交えてのセッションを行いました。皆さん初めて経験される方ばかりで少し戸惑っていましたが、セッションを行う毎に慣れていき、少しずつ話せるようになりました。時間が長く感じられたようですが、「抑圧」というテーマに対しては、『今までこんなことは深く考えた事がなかった』などという方もおられ、ピアカンについて少し理解して頂けたようでした。セッションの間には色々な質問も出てきて、少ない人数の割には質のよい講座となりました。

(記事：松浦)

バリアフリー調査に東京に行って来ました！

平成16年12月8日(木)～12日(日)の日程でバリアフリーによるまちづくりを先駆的に行ってきた東京都世田谷区梅ヶ丘や、さいたま新都心(スーパーアリーナ等)、東京ディズニーランドに行ってきました。日中はいずれの日もお天気に恵まれ調査を行うには申し分のない日和でしたが、一日の調査時間は、AM8:00～AM0:00(ミーティング込)と長時間でしたので、実にハードな出張でした。

調査内容の詳細は、市民参加で長年バリアフリーのまちづくりを行ってきた梅ヶ丘の歴史を聞きながらの街散策を行ったり、さいたま新都心では、最新の総合的なユニバーサルデザイン(バリアフリー)のまちづくり、さらに、これらに辿り着く為の交通網(電車・バス・ユニバーサルタクシー)等について学んで来ました。

この持ち帰った調査結果を検証し、これからの大分市、別府市のまちづくりに役立てていこうと考えています。

右写真：[上]さいたま市での話し合い

[下]ジョンレノンミュージアム (記事：河野)



バリアフリーマンション建設中！

別府市千代町にバリアフリー対応型の賃貸マンションを建設中！7階建てで、居室スペースは3階から7階まで。各部屋は車イスで移動しやすいようにすべての仕切りを取り外しました。トイレやお風呂も障がいの程度に応じてオーダーでつくることができます。簡単に改造することができるので障がいのある人だけでなく一般の人も入居できるのが特徴です。完成は来年3月の予定。完成後は事務所がマンションの2階へ移転します。

ここを拠点として、利用者主体の介助サービスやユニバーサルデザイン(バリアフリー)による福祉のまちづくりにも頑張っていきます。



《ピア・カウンセリング講座のお知らせ》

当センターでは、毎月1回ピア・カウンセリングを行っています。障をもっている仲間同士が時間を分け合い、お互いに話を聞き合う事を中心に進めていきます。日頃、思っていることを話せないで悩んでいる人、自立生活を望んでいる人、この講座に参加して色々な話をして強くなっていきませんか。

障をもっている人なら誰でも参加できます。皆様の参加を心よりお待ちしております。(担当:松浦)

記
日 時： 平成17年 1月23日(日)
2月20日(日)
3月19日(土)
時 間： 午後13時00分～午後16時00分

《編集後記》

こんにちは みなさん、クリスマスをどのように過ごしましたか？今年の冬は暖冬ですね～せっかく出したコートも出番待ちのままだったり、野菜が高くてお鍋を食べる回数が少なくなったり...何だか冬の楽しみが減ったと思いませんか？心残り

ではありますが今年もあと少しです。

今回、まちづくりの記事を載せていますが、センターのHPにバリアフリー情報を写真付きで詳しく紹介しています。かわいい動物の写真もあるよ！遊びにきて下さいね お待ちしてまーす

今年最後の新聞となりました。皆様にとって、2005年が笑顔いっぱい的一年でありますように心よりお祈り申し上げます。(編集長:西川)

〒874-0014大分県別府市亀川浜田町33組

サクセスハイツマルコ 101

TEL 0977(67)4880 FAX 0977(67)4924

<http://www.jp999.com/333/>

E-mail333@jp114.com

おります。主なサービスは下記の通りです。

訪問介助サービス

ピア・カウンセリング 自立生活プログラム

福祉各種無料相談(0120-110-699)

自立生活・バリアフリーセミナー

バリアフリーコンサルタント

(ユニバーサルデザイン)